

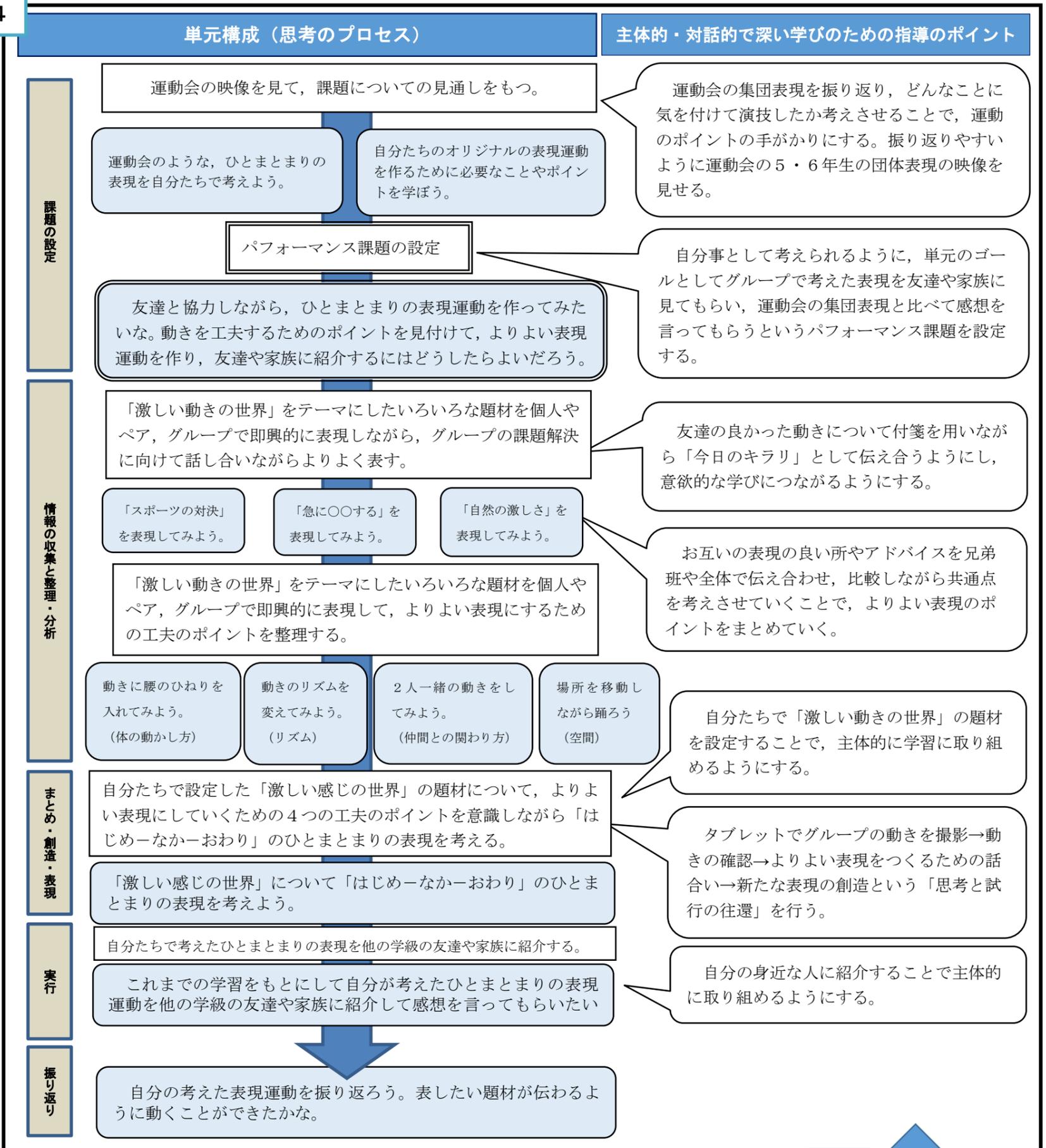
1

本単元で目指す児童の姿

本単元で目指す児童の姿	表現運動について、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、自己やグループの課題の解決に向けて動きを工夫しながら簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりする。	育成を目指す資質・能力	知識及び技能	いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。
			思考力、判断力、表現力等	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
			学びに向かう力、人間性等	運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。

4

課題発見・解決学習の過程



2

パフォーマンス課題

運動会では、5・6年生で素晴らしい団体表現を披露することができました。でも、運動会では先生が表現運動の構成を考えました。今度は、表現運動の達人を目指して、自分たちでひとまとまりの表現運動を考えて友達や家族に紹介しよう。

3

ルーブリック（見直し・改善）

尺度	激しい感じの世界を表現した動き
3	「激しい動きの世界」を即興的に表現したり、「体の動かし方」「リズム」「仲間との関わり方」「空間」を工夫したりして、「はじめ-なか-おわり」のひとまとまりの表現で表すことができる。
2	「激しい動きの世界」を即興的に表現したり、「はじめ-なか-おわり」のひとまとまりの表現にして表すことができる。
1	「激しい動きの世界」を即興的に表現したり、ひと流れの表現にして表すことができる。

5